

えひめの子どもたちへ メッセージ
～本音で語り合い、支え合える集団づくりを！～

〔「えひめ愛顔の子ども新聞」掲載記事〕

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策のために、学校生活が大きく変わり、教室で一緒に勉強することも、部活動に打ち込むことも、学校行事で思い出をつくることも、例年とは異なったものとなりました。友達と思う存分おしゃべりを楽しむことも我慢してしまうような生活が続く中で、改めて友達の大切さをより強く感じた人もいるのではないのでしょうか。これまで、当たり前であった日常が、いかに多くの人々に支えられていたかを知るきっかけともなり、素直に感謝の気持ちを伝えることもできたことと思います。

昨年12月に予定していた「いじめSTOP！愛顔のえひめフォーラム」は、このような状況下のため実施することができませんでしたが、その時に上演を予定していた人権ミュージカルの映像を、皆さんの学校にお配りしましたので、いじめ防止のための学習にぜひ役立ててください。この人権ミュージカルの登場人物は、いじめが原因となってそれぞれが悩み、苦しんでいます。その姿は、「いじめ」は、相手の尊厳を傷付け、関わった人の人生を変え、大切な命をも奪いかねない行為であるということを強く訴えるとともに、それを乗り越える力強さが表現されています。皆さんが、ここから何を学び、これからの人生でどう実践するのか、みんなで意見を出し合ってみてください。

きっと誰もが「いじめがなくなればいい」と願ってはいるものの、「なくす一員であるべき」という自覚はしっかりと持てているのでしょうか。支えられる側から支える側へ、共に学校生活を行う仲間として、自分たちにできることを本気で考え、本音で語り合い、人とつながり合うことの喜びを共有しながら、支え合える集団づくりに取り組んでいくことを願っています。

また、学校関係者、保護者、地域の皆様方におかれましては、全ての子どもたちが主体的にいじめ問題としっかり向き合うことで多くのことを学び、学校生活や今後の人生に役立てることができるようご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。